

るもい^{もくいく}木育コレクション

シリーズ2 増毛町「溪流の森」の春

増毛町にある「溪流の森」をご存じですか？

「溪流の森」は、原始の自然が残る暑寒別岳の登山口周辺にある森で訪れる人々が気軽に自然に触れ親しむことのできるエリアとなっています。

5月下旬、残雪を頂いた暑寒別岳を見上げて
森は暖かな日差しを浴び
春を待ちきれずにいた木々たちが
一斉に柔らかい葉を広げ始めます。
林内は新緑の透き通った緑の光に覆われ
林床には色とりどりの草花が次々と咲きだします。



【春の柔らかい木漏れ日に包まれる林内 平成29年5月18日撮影】

今回の「るもい木育(もくいく)コレクション」では
「溪流の森」の春の花の一部をご紹介します。



芽森(めもりー)



溪流の森から望む暑寒別岳



マイヅルソウ(コリ科)
葉の形が、羽を広げて舞う鶴に似ています。針葉樹林内に多く見られます。



エゾハリュウキンカ
(キンポウゲ科)
湿った草原や水際に見られます



エンレイソウ(コリ科)
大きな3枚の葉に小豆色の花が特徴的です。

ニリンソウ
(キンポウゲ科)
花茎は1~2本。明るい林内に群生します。



フギレオオバキスミレ
(スミレ科)
北海道西部に分布し、葉の不規則な切れ込みで、オオバキスミレと区別します。

エゾイチゲ(キンポウゲ科)
葉が3枚の小葉に分かれ、表面に毛が多い。明るい林の下に見られます。



シナノキンバイソウ
(キンポウゲ科)
北海道では、増毛山地以南、夕張山地以西に分布します。



オオサクラソウ(サクラソウ科)
北海道西部に分布し、広葉樹林のやや湿ったところに見られます。

シラネアオイ(キンポウゲ科)
花びらに見えるのは、がくです。明るい林の下に見られます。



オオタチツボスミレ(スミレ科)
花が茎葉のわきからです。明るい林内に群生しています。

タチカメバソウ(ムラサキ科)
葉の形が亀の甲に似ています。林内の湿ったところに生えています。

サンカヨウ(メギ科)
露に似た大きな2枚の葉を広げ、花は茎の先にまとまって3~10個つきます。



ポンショカンベツ川



カタクリ(5月上旬撮影)



お花畑

留萌発 “広めよう**木育** (もくいく) **一歩** トライアル”

- 北海道留萌振興局 森林室 発行
- 協働機関
(一社)北海道森林土木建設業協会 留萌支部
留萌みどいづくりネットワーク



その先の、道へ。北海道
Hokkaido, Expanding Horizons.

参考資料
「新版 北海道の花【増補版】」
北海道大学図書刊行会

【お問い合わせ先】
0164-42-8381
留萌振興局 森林室 木育推進チーム